

2024年12月16日

三井化学株式会社

三井化学、製品輸送におけるエネルギー使用量および 温室効果ガス（GHG）排出量の可視化を実現 物流 DX により製品輸送の環境負荷低減を推進

三井化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本修）は、省エネ法・政府ガイドラインに則り、三井化学独自で BI（Business Intelligence）ツールを使用し計算ロジックを構築することで、製品輸送におけるエネルギー使用量および温室効果ガス（以下、GHG）排出量の可視化を実現しました。

これまで三井化学は、2019年のサーキュラーエコミーに向けた気候変動対応方針の策定や2020年の2050年カーボンニュートラル宣言の発表を通して、「バリューチェーンによる貢献最大化」を掲げ、製品輸送を担う物流工程において排出されるGHG排出量の削減に向けて取り組みを進めてきました。今回開発したBIツールを使用して環境負荷の高い輸送ルートを見つけ出し、トラックから鉄道輸送等でモーダルシフトに切り替えていくことで、製品輸送における環境への負荷低減に向けた取組を更に促進していくことが期待されます。

今回開発したBIツールの画期的な点は以下の4点です。

1. エネルギー使用量とGHG排出量という2種類のデータを同時計算し容易に把握することが可能になり、これにより、顧客からのGHG排出量の問合せ等へのタイムリーな対応を実現
2. 可視化されたデータから排出量削減ターゲットの選定が可能
3. 従来の国際輸送時のGHG排出量データ*1の本BIツールへの取込みにより、国内外輸送時のGHG排出量の一括管理が可能
4. これまで複数の担当者による入力作業が、本BIツールを用いることにより、出荷伝票からエネルギー使用量・GHG排出量を算出する仕組みを実現。従来に比べ90%の業務工数の削減を達成。

今後も三井化学の物流は、DXを活用した業務改革の推進を加速度的に進め、持続可能な社会を実現して参ります。

イメージ図



以上

*1 [三井化学、三井倉庫ホールディングス提供の計算方法を使用し自社製品の国際輸送により発生したCO2の排出量を見る化 | ニュースリリース | 三井化学株式会社 \(mitsuichemicals.com\)](#)

<お問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL : 03-6880-7500

https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja?param=13